

第 53 回(H23 年度第 11 回)MT 委員会議事録

日時: 2012 年 3 月 16 日 13:30-14:50

場所: RIBF 棟 2F 小会議室

出席: 酒井^a(委員長)、阿部^a、延與^{a,†}、福西^a、羽場^{a,†}、加瀬^a、久保^a、久保野^b、森田^a、本林^{a,†}、
西村^{a,†}、須田^{c,†,‡}、上野^a、上坂^a、上叢^a、若杉^a、山口^{b,†}

欠席: 上垣外^a、櫻井^a、下浦^b、吉田^{a,†}

^a RNC / ^b CNS / ^c RIBF-UEC / [†] Observer / [‡] TV Attendee

(順不同・敬称略。以下同様)

【報告】

1. MT 変更(上野)

RILAC でトラブルがあり、ML1006-LINAC27-02 (Haba) MT が 1.3 日遅れの 3/3 15:20 スポット調整完了・照射開始、一日遅れの 3/9 9:00AM に実験終了となった。続く NP0702-LINAC12-14 (Morita) MT は 1.2 日遅れの 3/13 14:46 スポット調整完了・照射開。これら以外の MT は順調に行われ、スケジュールの変更は無かった。

2. RIBF 加速器運転 (福西)

- NP0912-RIBF34-02 (Sekiguchi) MT における RRC の状況
当該 MT における RRC の状態をみて緊急修理の必要性を判断するとされていたが、ビーム調整ではコイルの層間短絡による RRC の不安定度が深刻な状態には至らず、実験は予定通り実施された。故障箇所が改善したわけではないので、問題を抱えつつ MT 計画通りビーム供給を続ける。夏のメンテ時期に本格修理を行う予定。
- ¹⁸O シリーズビーム加速状況
予定より早くビーム加速調整が完了した。ビーム強度は要求より高く、250-500 pA であった。なお、シリーズの後半では、ビームエネルギーを $E/A = 300$ MeV から加速実績のない 230 MeV まで下げるため、このビーム強度が維持されるかどうかは現時点ではわからない。

3. SAMURAI 関係施設検査報告(上叢)

昨年 5 月及び 12 月に行った変更申請に関する施設検査が本日実施され無事合格した。これにより BigRIPS 本体室 / SAMURAI / ZD / EURICA がそれぞれ独立の放管区域となり、MT 中もビームが通っていない実験ポートへはアクセスが可能となった。

4. BigRIPS/SAMURAI 整備・建設状況(久保)

- SAMURAI 本体及び関連ビームラインの建設工事が完了した。本日 13:00 より最初の Commissioning-MS がスタートした。
- SAMURAI と ZD を切り替える STQ-18 移動架台を設置した。この STQ の切り替えに必要な日数は 0.5 日。また、SAMURAI の 4 m 上流に STQ-25 が新たに設置された。
- 通常行っている通り、実験開始に先立ち BigRIPS 超伝導電磁石のトレーニングを実施していた最中、STQ-1 がクエンチした。今回はコンプレッサーまで停止してしまい、定常状態に戻るまでに時間を要したが MT への影響はなかった。

5. EURICA 整備状況(西村)

3/28 から EURICA commissioning (MS11-17) の MT があるため日程的に余裕が無いが、SAMURA commissioning (MS11-10) 直後に、B3F から F11 への液体窒素の配管工事及び F11 バッファータンクの設置工事を年度内に行う。

6. MT 委員会委員の変更(酒井)

MT 委員会外部委員の東大 CNS 久保野教授が退官されることに伴い、仁科加速器研究センターRI ビームファクトリーマシントイム委員会細則 第4条(9) に基づき、延興センター長が、東大 CNS 山口英斉講師を新年度からの新たな MT 委員会外部委員に指名したと報告された。なお、この指名は CNS-理研共同研究担当者会議での合意を経た上で行われた。

7. FY2012 上期 MT 配分(上野)

- 前回 MT 委員会で計画が承認された後、計画を実験代表者へ公開し、ユーザーとの調整を行ったが追加変更は無かった。夏の電力事情が不透明であることから7月の SRC 利用 MT は条件付き配分とした。
- MT 配分予定の実験に関し、3/13 に安全審査委員会が実施された。委員会指摘事項に基づき、3月末までに実験代表者による実施計画の修正が行われる。
- 加速器基盤研究部が行う、追加の装置を使用しないビーム供給のための加速のテストを行う MS については、通常のビーム加速調整と同等であることから、安全審査を経由しないようにして欲しいとの要望があった^{*1} (福西)。

^{*1} 後日、安全業務室長・保安責任者・保安責任者代理者で検討され、提案を了承した(上野)。但し実験情報を整理する都合上、使用計画書に代わり利用ビーム情報と MS 責任者等が記される書類が別途用意されることとなった(上野・上野)。

8. PAC 進捗状況(上野)

- 11th NP-PAC (6/18-19): 3/15 に call-for-proposals を配信したと報告された(募集締め切りは5/2)。募集に際し、51st MT 委員会決定に従い申請書類のカバーページの申請日数部分に変更された。また、web 上の一次・二次ビーム情報が更新されたこと及び DALI2 の検出器担当者が Doornenbal 研究員に変更されたことが報告された。
- 9th ML-PAC & 3rd In-PAC: 調整中。

【議題】

1. 前回議事録承認(酒井)

2. SHARAQ06 実験の内容一部変更について(酒井)

当該実験について、PAC で承認された実験主目的の反応測定に加え、SHARAQ-FH9 位置に別標的を追加で設置し、並行して別の反応系の測定を行いたいとの申し出があった(矢向)。追加測定の結果は主目的に有用であるが、独立した研究成果として報告可能である点が審議の対象となった。他の採択課題への干渉が無いことを確認した上で、限られた MT の日数で多くの成果をあげる必要性を重視し、MT 委員会としては申し出を奨励することとした。当検討結果は RNC センター長へ答申され、センター長もこれを了承した。なお、UEC 委員長より、このような申し出については他のユーザーへ不公平感の無いように進めて欲しいとの要望があった(須田)。実施内容については、後日センター長より PAC へ報

告される。

3. 次回 MT 委員会の日程

- 次回、FY2012 第 1 回 MT 委員会は 4/20(金) 13:30- で調整。
- それ以降も原則として第 3 金曜 13:30- で調整する。但し 8 月は開催せず、10 月は 10/12(第 2 金曜)に開催の予定。

(以上)